2D-53-00036900

DECT Based Wireless Intercom System

MK-B96A

子機

取扱説明書

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

TAMURA

安全上のご注意：

ここでは当社製品を安全にご使用いただく上で大切な[禁止事項]・[注意事項]について記載します。操作に入る前に必ずお読みいただき、大切に保管し、正しくご使用いただくようお願いいたします。また廃棄の際は〔廃棄上の留意点〕を必ずお読みください。

⚠警告　この表示とともに記載されている事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠注意　この表示とともに記載されている事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

△記号は注意しなければならない内容（警告を含む）を示しています。
具体的な注意内容は△の中や近くに絵や文章で示しています。
左図の内容は[感電注意]を示しています。

⃠記号は、禁止内容（してはならないこと）を示しています。
具体的な内容は⃠の中や近くに絵や文章で示しています。
左図の場合は[分解禁止]を示しています。

・製造物責任法に規定する欠陥が存在することに起因する場合を除き、製品を使用し、お客様の生命、身体または財産に損害が生じることがあっても当社は何ら責任を負うものではありません。
・本製品の瑕疵によった場合でも、お客様が当社指示以外の作業などを行った場合、その費用や損害については、当社は何ら責任を負うものではありません。

⚠ 警告

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

機器内部に水や異物が入ったなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。

機器を落としたりカバーを破損したりした場合、そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

機器本体に直接水のかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

本機の分解・修理・改造は絶対にしないでください。またカバーは絶対に外さないでください。火災・感電の原因となります

梱包に使用されている袋（ポリ袋、エアパッキン等）は被らないでください。窒息する恐れがあります。

人命に関わる用途には絶対に使用しないでください。

耳を刺激するような大きい音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、適切な音量で使用してください。

⚠ 注意

長時間使用しない場合は、電池を電池パックから抜いてください。電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷する恐れがあります。

電池はすべて＋／－の極性表示通りに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れする恐れがあります。

使い切りタイプの電池は充電しないでください。充電すると、液漏れや破裂の原因になります。

電池を分解したり、火の中に入れたりしないでください。電池の中のものが目に入ると危険です。また、火の中に入れると破裂する恐れがあります。

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たるところなど、異常に温度の高いところには置かないでください。火災の原因となることがあります。

埃の多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電池は子供の手に届くところに置かないでください。お子様が誤って飲み込む恐れがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こす恐れがあります。

精密機械のため、乱暴に扱わないでください。機器が破損し、火災・感電の原因となります。

電池は、1度に全部を交換してください。新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの（アルカリとニッケル水素、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど）を一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。

※電池とは、一次電池及び二次電池を表します。

電源の操作は短時間(約1秒間隔)の「ON-OFF-ON」を繰り返さないでください。ヘッドセットからポップノイズが出る場合があります。

清掃上の留意点：
本機の表面の清掃は、電池パックを外して行ってください。有機溶剤の使用は、筐体が腐食、変形する恐れがありますのでおやめください。
清掃は、乾布で拭いてください。

廃棄上の留意点：

・お客様へ
本機を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託してください。

・回収サービス
当社製品による入れ替えにともなう回収をご希望される場合は、当社営業へお問い合わせください。この場合、産業廃棄物としての管理などに関わる費用を別途請求させていただく場合があります。

電波法に関する注意事項：

電波法に基づく技術基準適合証明（利用に関してお客様の免許申請等が不要）を受けている製品については必ず次の点を守ってお使いください。

分解・改造をしないでください。分解・改造は法律で禁止されています。

技術基準適合ラベルは剥がさないでください。ラベルの無い物の使用は禁止されています。

この製品は日本国外での電波法には準じておりません。日本国内で御使用ください。
This product is for use only in Japan.

異常や不具合が起きたら：

すぐに電源を切り、電池パックを本機から抜き、販売店又は当社カスタマーサービスにご連絡ください。

お客様による修理は危険ですので、絶対にお止めください。

ご使用上の注意

- このシステムは、電波を利用している為サービスエリア内であっても電波の届かないところ、電波の弱いところでは通話ができないことがあります。
- デジタル方式の特徴として、電波状態が悪いところでも高品質な通話を保つことができますが一定以上悪くなったときは、突然通話が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- このシステムは、時分割通信方式を利用している為、他の機器に影響を与えることがあります（ワイヤレスマイク、有線マイク、補聴器等、特にコンデンサーマイク）。あらかじめご確認の上ご使用ください。
- このシステムは、時分割通信方式を利用している為、システムにノイズが混入する場合があります（ブーンという音）。あらかじめご了承ください。
- このシステムは、デジタルコードレス電話（PHS/J-DECT）の自営用の周波数を使用している為、コードレス電話、構内電話、公衆PHS等の影響を受けるエリアでは使用できない場合があります。あらかじめご確認の上ご使用ください。
- ハンドオーバー機能を使用する場合、アクティブアンテナの設置してある場所により、切替えに数秒かかる場合があります。あらかじめご確認の上ご使用ください。
- このシステムは、従来のアナログ方式と比べ高い秘話性を有しておりますが、電波を使用している関係上、傍受されることが絶対無いとは言い切れません。十分ご配慮の上ご使用ください。
- アクティブアンテナと子機を接続する時は、サービスエリア内でご使用ください。
- アンテナ周辺をむやみに触れないでください。時分割多重通信を利用しているため、システムにノイズが混入することがあります。
- このシステムは、方式の都合上、子機とメインコントローラの間で音声遅延が20ms以上発生します。遅延が問題になる用途では使用しないでください。
- マンガン電池は使用しないでください。マンガン電池を使用すると正常に動作しない場合があります。

その他ご不明な点等がございましたら当社営業までご相談ください。

目次

1. 概要 8
2. 構成 9
3. 各部の名称 9
4. 各部の機能 10
   4.1 電池パックの取り付け 10
   4.2 ヘッドセットの取り付け 10
   4.3 電源・状態表示灯 (BAT) 10
   4.4 トーク有効表示灯 10
   4.5 TALKスイッチON/OFF、TALK-LOCK (PUSH TALK) 11
   4.6 ボリュームスイッチA (SW & VOL A) 11
   4.7 ボリュームスイッチB (VOL B) 11
   4.8 表示パネル 12
   4.9 表示パネル画面説明 13
   4.10 子機設定表示モード画面説明 15
   4.11 USBコネクタ 19
   4.12 設定用スイッチ 19
5. 設定パラメータの説明 20
   5.1 メインコントローラID選択 21
   5.2 通話グループ設定 21
   5.3 グループ選択 21
   5.4 トークグループ選択 22
   5.5 子機番号登録 22
   5.6 中間スイッチ動作設定 22
   5.7 機能割当設定 22
   5.8 通知音 音量設定 23
   5.9 マイク感度 23
   5.10 送信VOX、受信VOX 23
   5.11 通信システム設定 24
   5.12 大音量モード設定 24
   5.13 サイドトーン音量設定 25
   5.14 電池種別 25
   5.15 ログ開始/停止 25
   5.16 ログ取得 25
   5.17 ログ設定 25
   5.18 ログクリア 25
   5.19 設定保存 25
   5.20 設定復元 26
   5.21 子機ID表示 26
   5.22 ソフトウェアバージョン表示 26
   5.23 設定初期化 26
6. 定格性能 27
7. 外形図 28
8. ブロック図 29
9. 故障かなと思ったら 30

1.概要

本製品は、DECT規格インターカムシステムの子機です。メインコントローラに接続されたアクティブアンテナと電波で接続し、同一グループに設定された子機及びメインコントローラに接続された有線機器間と通話ができます。単3型アルカリ乾電池2本で連続8時間の使用が可能です。

本書は子機MK-B96Aの取扱説明書です。他の機器の説明は、各機器の取扱説明書をご参照下さい。

表1. DECT規格ワイヤレスインターカム・システム構成

No.	製品名	型名	英表記	略称
1	メインコントローラ	MK-C96	MAIN CONTROLLER	MC
2	アクティブアンテナ	MK-A96	ACTIVE ANTENNA	AA
3	子機	MK-B96 /MK-B96A	BELT PACK	BP
4	パワーサプライ	MK-P96	POWER SUPPLY	PS

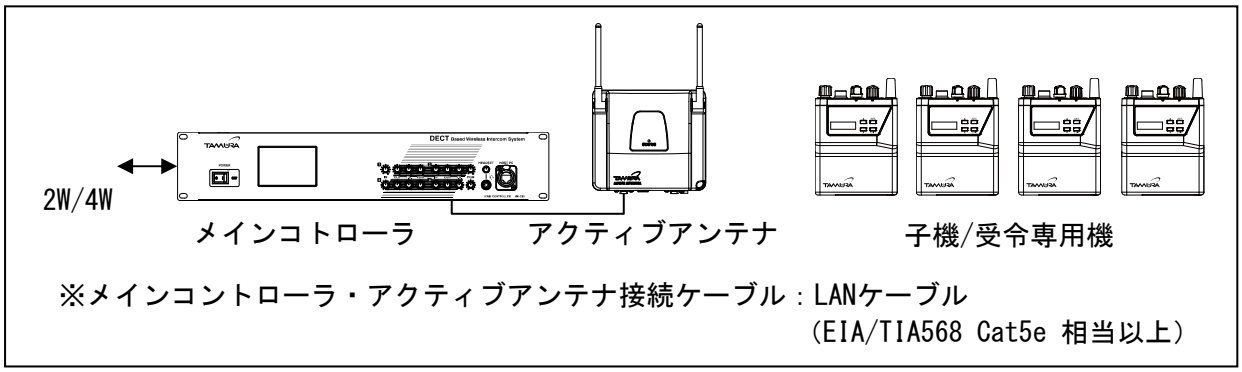
＜特徴＞

- アクティブアンテナ1台に最大10台の子機を接続し通話可能です。
- メインコントローラーアクティブアンテナ間、アクティブアンテナーアクティブアンテナ間はLANケーブル(EIA/TIA568 Cat5e 相当以上)で接続します。
- 標準で4台のアクティブアンテナと接続可能です。
- 最大16台のアクティブアンテナと接続可能です。(パワーサプライが必要です)。
- 子機通信モードをDuplex設定時、本システムの子機最大接続台数は60台です。
- 子機通信モードをBroadcast設定時、本システムの子機最大接続台数は48台です。
  また、本設定では最大128台の受令機を使用可能です。
- 見通し通信距離300m(High設定時)。

※注意

- 子機間は直接通話することはできません。メインコントローラを経由して通話が行われます。
- メインコントローラを複数台同一エリアで使用する場合、システム間の同期の為にメインコントローラのSyncコネクタ間をLANケーブルで接続します。
- 本システムはPHSと同じ無線周波数を使用します。このため、PHSシステムの電波を検知すると、使用可能な無線チャネルが減少するため、接続できる子機の最大数が減少します。この場合の子機最大接続数は、Duplex設定時：40台/Broadcast設定時：32台となります。

＜システム例＞



＜旧製品との互換性について＞

- 従来のデジタルワイヤレスインターカムシステムとの互換性はありません。ご注意ください。

2. 構成

1)本体

(a) MK-B96A　　1台

2)付属品

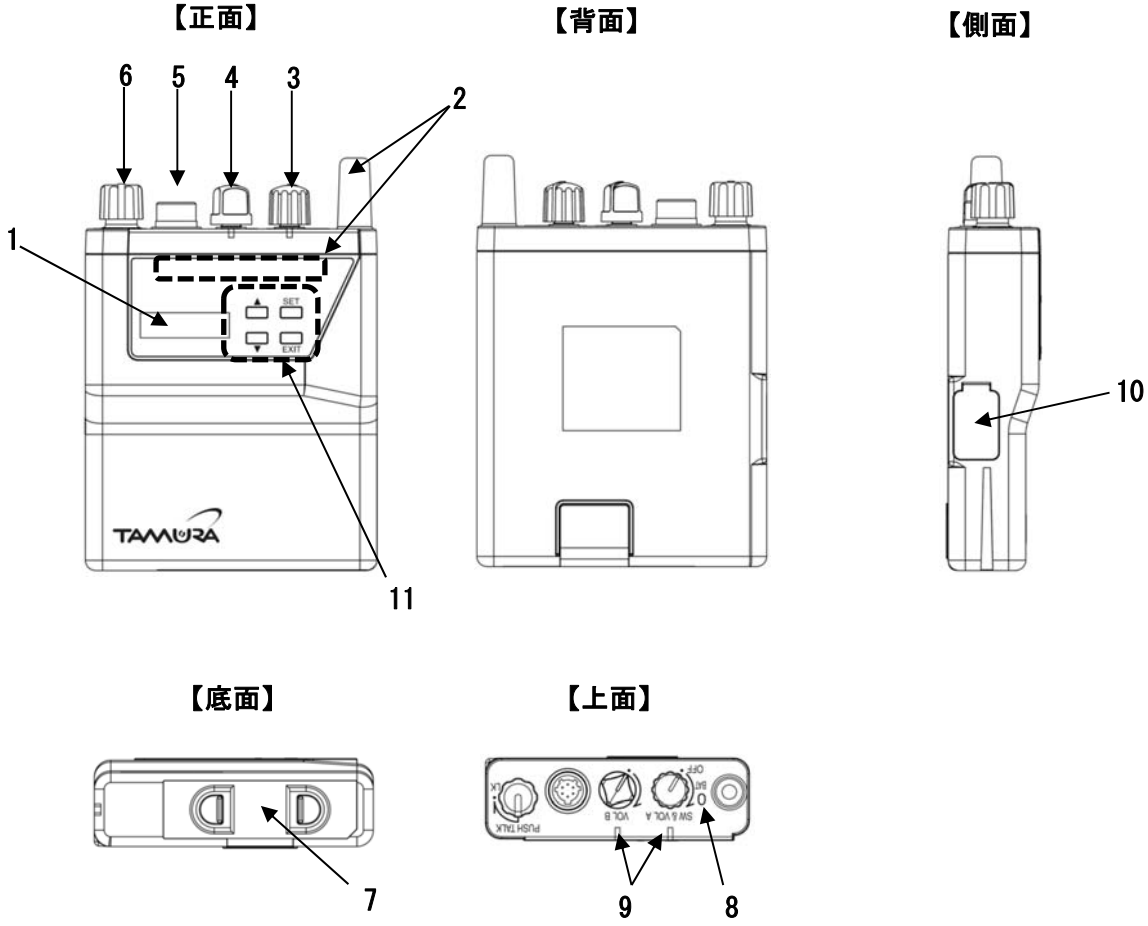
(a) 皮ケース(本体収納)　　1個

(b) 電池パック(本体実装)　　1個

(c) 取扱説明書(本書)　　1部

※皮ケース取付の際は抜けどめ紐のかけ方にご注意ください。
詳しくは「7.外形図」をご覧ください。

3. 各部の名称

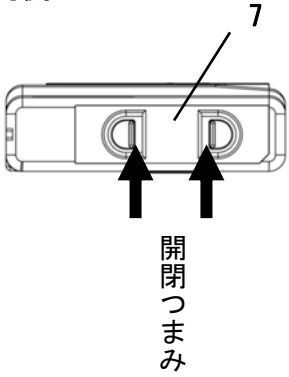


1. 表示パネル
2. アンテナ
3. ボリュームスイッチA (SW & VOL A)
4. ボリュームスイッチB (VOL B)
5. ヘッドセットコネクタ
   (型番：SR30-10R-6S(71))
6. TALKスイッチ (PUSH TALK)
   ※受令専用モードでは動作しません
7. 電池パック
8. 電源・状態表示灯 (BAT)
9. トーク有効表示
10. USBコネクタ(Micro-B カバー付き)
11. 設定用スイッチ

4.各部の機能

4.1　電池パックの取り付け

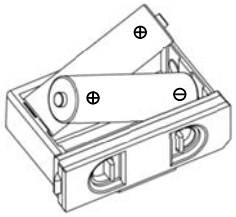
電池パックを取り付ける際は子機下部に電池パックを挿入し、
カチッと鳴るまで押し込んでください。
取り外しの際は、電池パック下部の開閉つまみを両側から
つまんでください。



＜使用可能電池＞
単3形アルカリ乾電池　　×2本
単3形ニッケル水素電池　　×2本

※マンガン電池は使用しないでください。
　正常に動作しない場合があります。

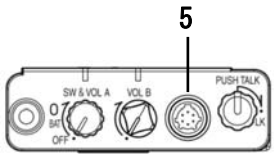
＜電池の着脱＞



電池パックの＋、－の表示に合わせ、
－側より挿入します。
電池を取り外すときは、電池を－側に
押しながら、＋側から取り出します。

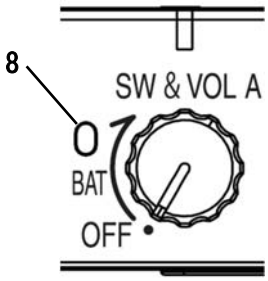
4.2　ヘッドセットの取り付け

専用のヘッドセットを取り付けます。
嵌合部をあわせて挿入し、ねじを回してロックしてください。



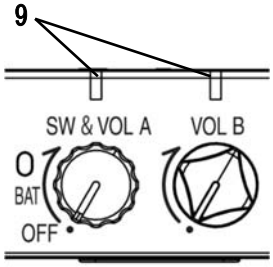
4.3　電源・状態表示灯（BAT）

電源が「ON」になると表示灯(LED)が緑点灯します。
電池残量警告状態になると赤点滅に変わります。



4.4　トーク有効表示灯

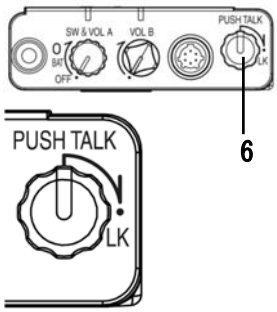
電源が「ON」になると有効側の表示灯(LED)が緑点灯します。



表示は下記の通りとなります。

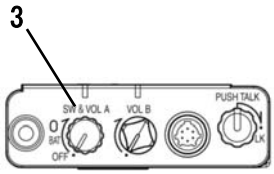
- VOL A もしくは VOL B のどちらかトーク有効側が
  緑点灯します。
- アクティブアンテナと通信状態で TALK スイッチを
  押し込むとトーク有効側が赤点灯します。
  （一斉通話時はどちらも赤点灯します。）
- 受令専用設定時はどちらも消灯します。

4.5 TALKスイッチON/OFF、TALK-LOCK (PUSH TALK)

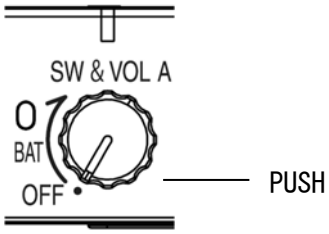


通信中に TALK スイッチを押し込むとヘッドセットの
マイクがオンになります。
スイッチを押して「・」の位置まで時計回りにまわすと
マイクオンが固定されます。(TALK-LOCK 状態)
※受令専用モードでは動作しません。

4.6 ボリュームスイッチA (SW & VOL A)

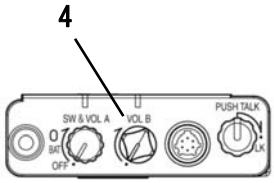


電源スイッチ、切替スイッチ及び音量調整ボリュームです。
時計回りにまわすと電源スイッチが「ON」となり、
「OFF」の位置で電源が「OFF」となります。
また、電源が「ON」の状態で時計回りにまわすと A 系統の
聴取音量が上がります。

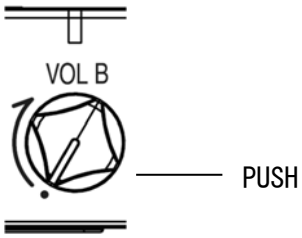


つまみを押し込むと、下記の状態が切り替わります。
<グループ、トーク系統>
※機能割当設定が必要です。
「5.7 機能割当設定」を参照してください。

4.7 ボリュームスイッチB (VOL B)



切替スイッチ及び音量調整ボリュームです。
時計回りにまわすと B 系統の聴取音量が上がります。
※受令専用設定では使用しません。



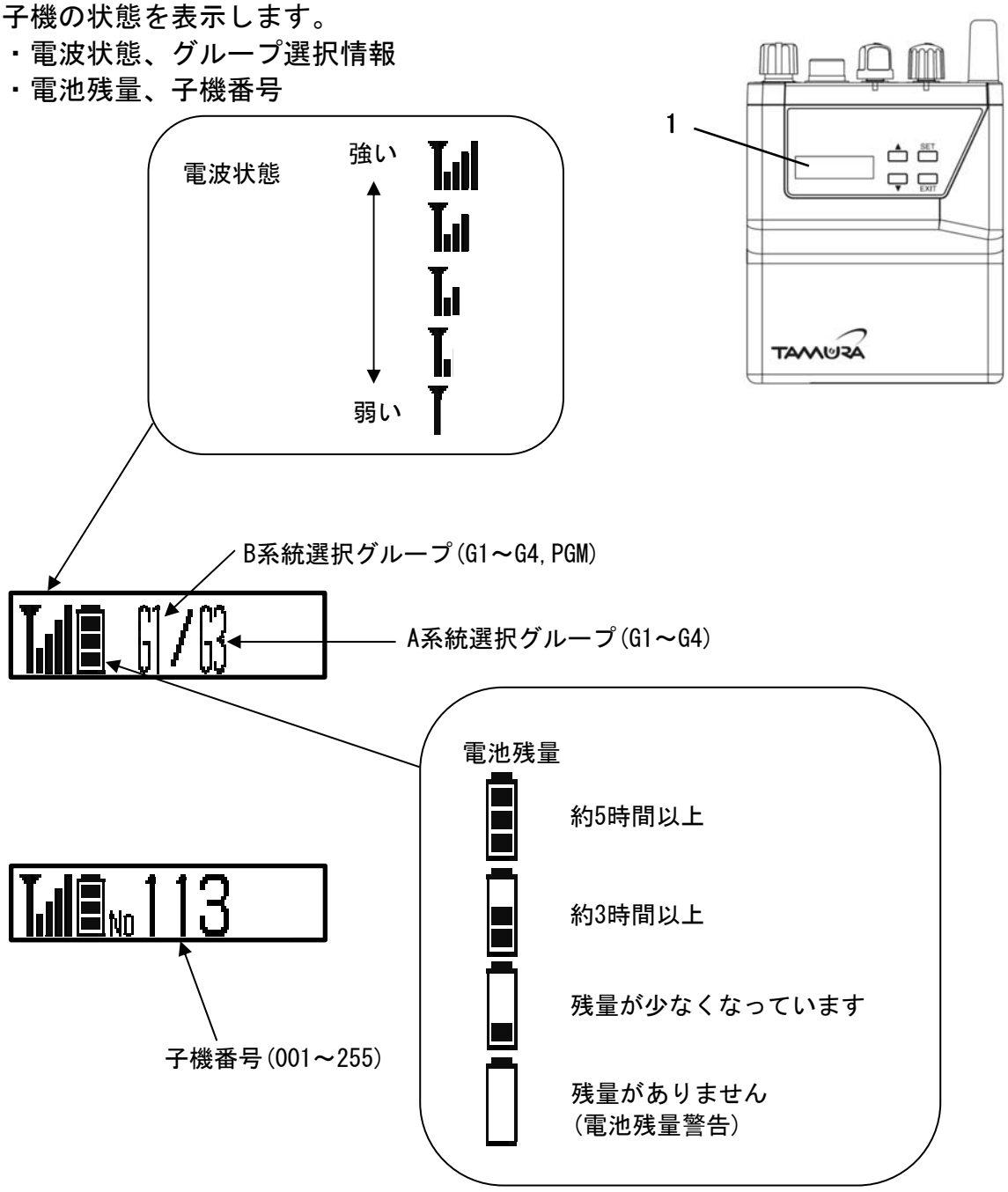
つまみを押し込むと、下記の状態が切り替わります。
<グループ、トーク系統>
※機能割当設定が必要です。
「5.7 機能割当設定」を参照してください。

4.8　表示パネル

子機の状態を表示します。

・電波状態、グループ選択情報

・電池残量、子機番号



＜グループ選択情報＞

選択されたグループ番号 G1～G4 及び PGM を示します。

＜子機番号 001～255＞

子機番号は通常 001 から順番に割り当てます。子機識別のために用いられます。

＜電池残量＞

電池残量表示です。使用する電池(アルカリ乾電池/ニッケル水素電池)によって、残量表示設定を切り替えてください。

※アルカリ乾電池の表示設定でニッケル水素電池を使用するとフル充電しても2個(■■)表示の場合があります。
表示設定の切り替えについては「5.14.電池種別」を参照ください。

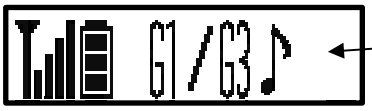
4.9 表示パネル画面説明

(1) 電源投入後、運用画面が表示されます。

(2) 電源投入後すぐに、接続要求状態になります。

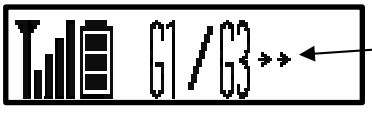
電波状態マークが点滅し接続先を探します。
このときイヤホンから「ピーッピーッ・・」とコール音が鳴ります。
※MSG TONEのCON REQ設定がOFFの場合は鳴りません。

(3)接続中状態



接続中は「♪」が点滅表示します。また、イヤホンから「ピッピッピッ・・」とコール音が連続して鳴ります。

(4)接続　TALK スイッチ「OFF」(受話のみ)

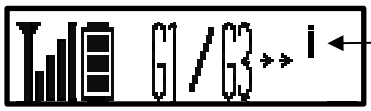


「→」が移動して表示されます。
この状態は接続中で受話可能です。

(5)接続　TALK スイッチ「ON」(送話 ON) ※受令専用モードでは動作しません

「 ◀» 」が表示されます。
送話及び受話が可能です。

(6)動作モード表示　アイソレーションモード

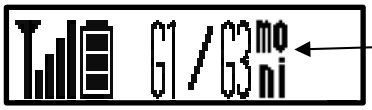


「i」が表示されます。
本子機の2W/4W出力が停止します。

＜アイソレーションモード＞
中間スイッチ付ヘッドセット(例:HS-316CTSW-002)を使用すると、中間スイッチをオンにした子機のみ 2W/4W 出力を停止させることができます。

※中間スイッチ動作設定が必要です。
「5.6 中間スイッチ動作設定」を参照してください。

(7)動作モード表示　受令専用モード

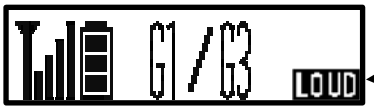


「moni」が表示されます。

＜受令専用モード＞
受令専用モードでは同一システム内の子機の通話、メインコントローラに接続された有線機器からの通話およびプログラム入力された音声をモニターすることが可能です。
送話は行えません。

※通信システム設定が必要です。
「5.11 通信システム設定」を参照してください。

(8)大音量モード表示

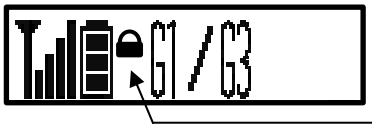


大音量モードで動作時、
「LOUD」が表示されます。

＜大音量モード＞
通常よりもヘッドセットから出力される音量が大きくなります。

※大音量モード設定が必要です。
「5.12 大音量モード設定」を参照してください。

(9)キーロック



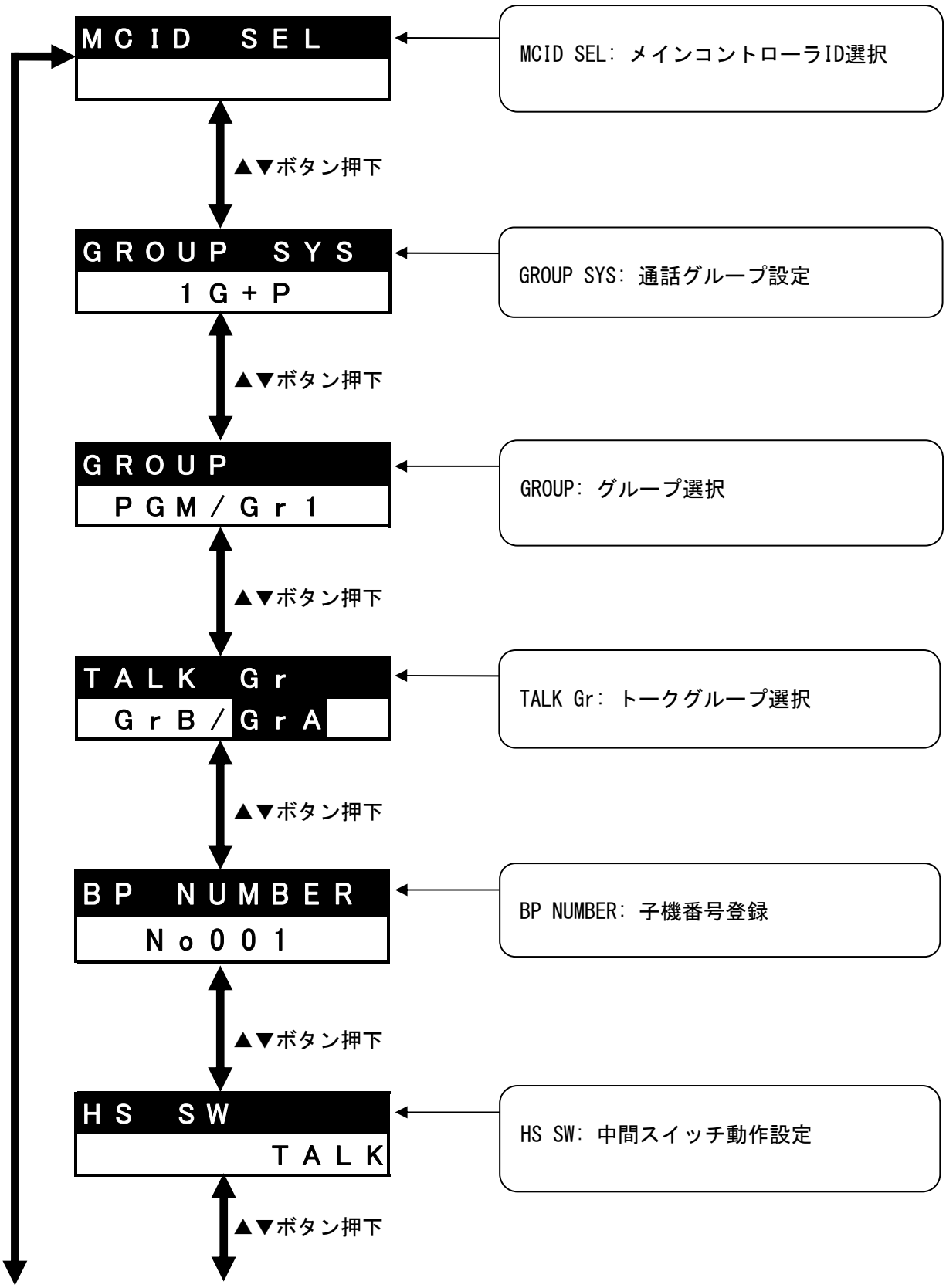
「🔒」が表示されます。

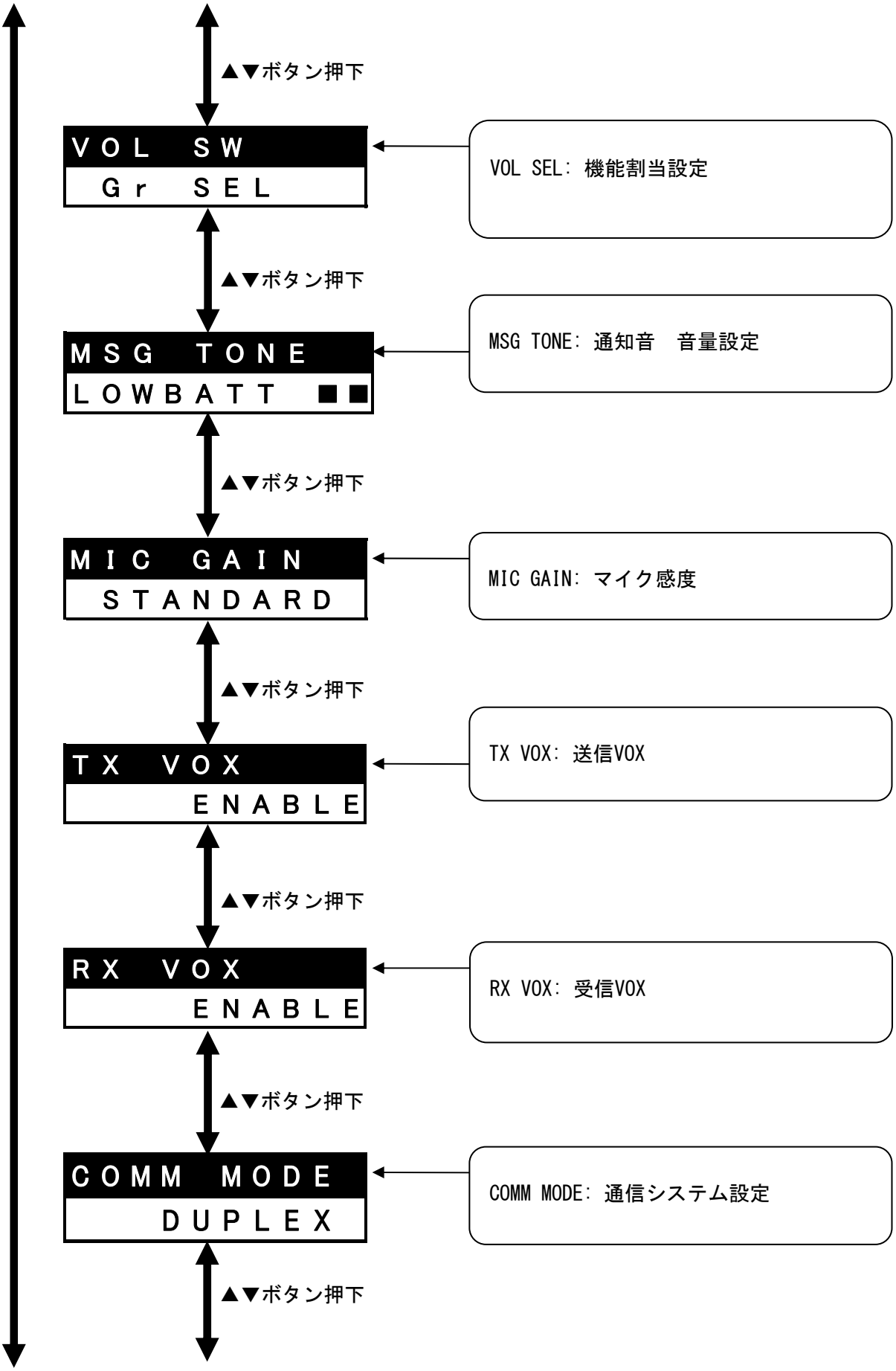
EXIT スイッチを鍵マークが表示されるまで押し続けてください。
解除する場合も同様に鍵マークが消えるまで押し続けてください。

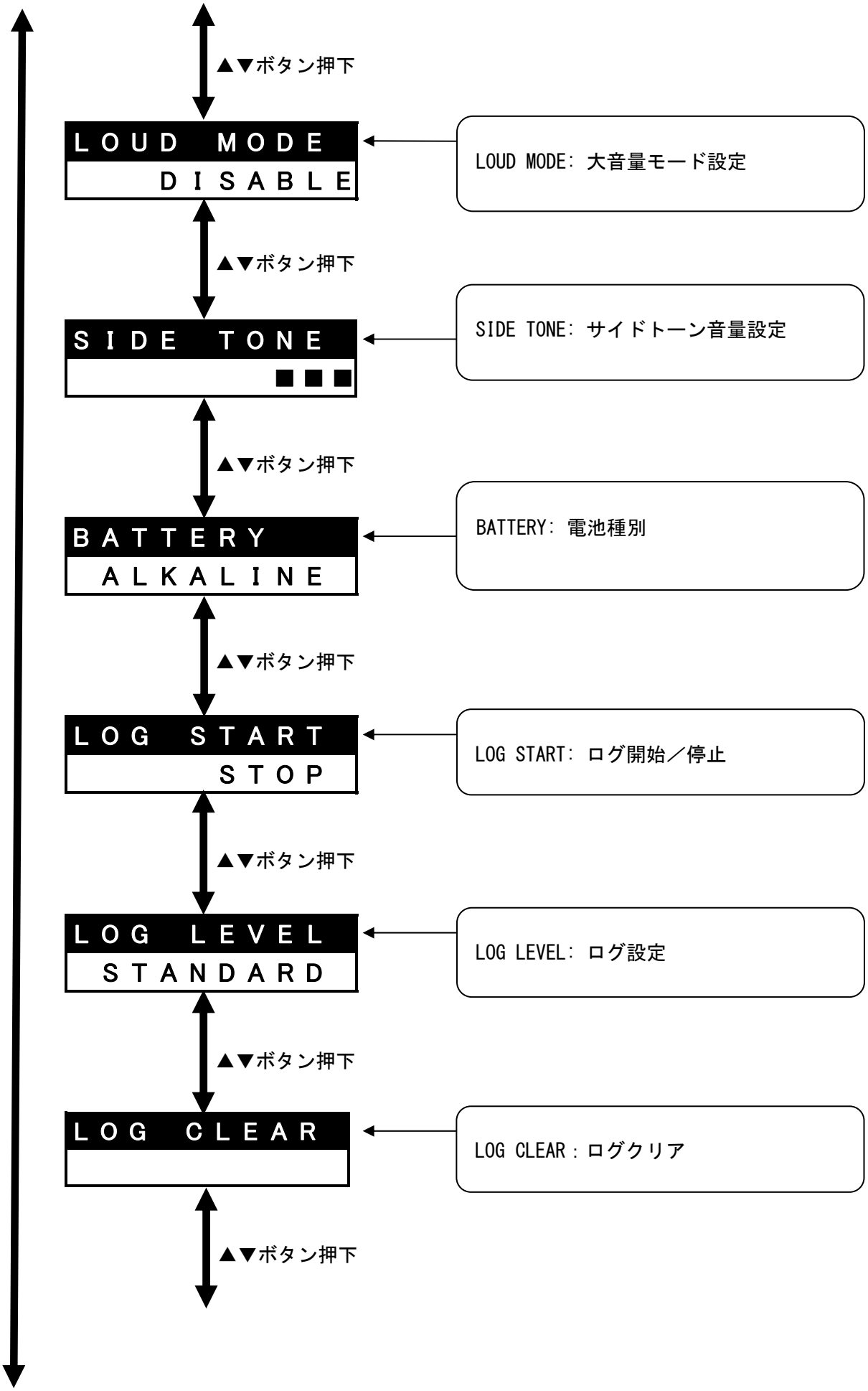
4.10 子機設定表示モード画面説明

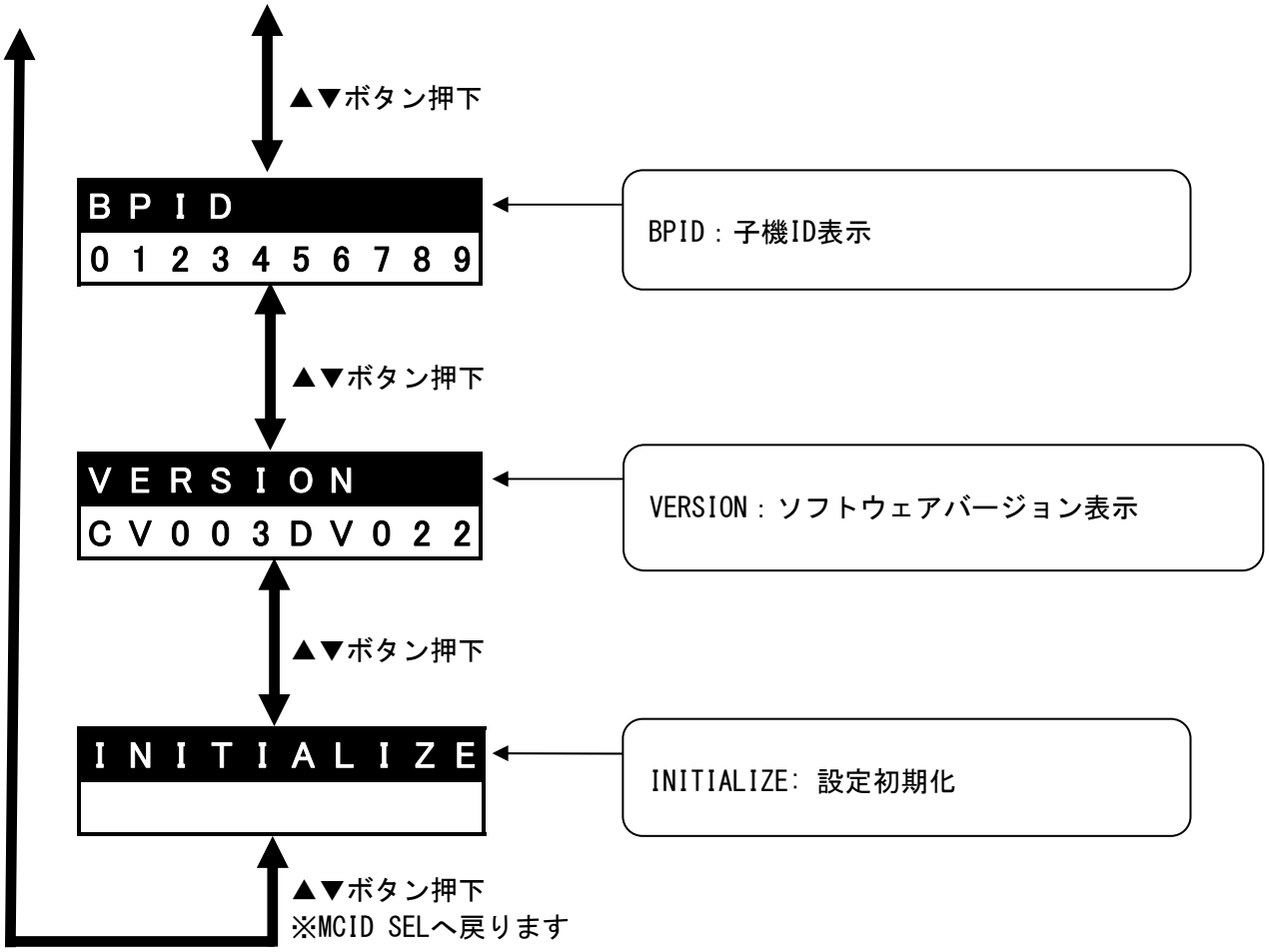
SETスイッチを下記の画面が表示されるまで押し続けてください。
子機の設定内容を変更できます。

切り替わると設定表示画面の先頭画面を表示します。




▲▼ボタン押下
VOL SW
Gr SEL
VOL SEL: 機能割当設定
▲▼ボタン押下
MSG TONE
LOWBATT ■■
MSG TONE: 通知音　音量設定
▲▼ボタン押下
MIC GAIN
STANDARD
MIC GAIN: マイク感度
▲▼ボタン押下
TX VOX
ENABLE
TX VOX: 送信VOX
▲▼ボタン押下
RX VOX
ENABLE
RX VOX: 受信VOX
▲▼ボタン押下
COMM MODE
DUPLEX
COMM MODE: 通信システム設定
▲▼ボタン押下


▲▼ボタン押下
LOUD MODE
DISABLE
LOUD MODE: 大音量モード設定
▲▼ボタン押下
SIDE TONE
■■■
SIDE TONE: サイドトーン音量設定
▲▼ボタン押下
BATTERY
ALKALINE
BATTERY: 電池種別
▲▼ボタン押下
LOG START
STOP
LOG START: ログ開始／停止
▲▼ボタン押下
LOG LEVEL
STANDARD
LOG LEVEL: ログ設定
▲▼ボタン押下
LOG CLEAR
LOG CLEAR : ログクリア
▲▼ボタン押下

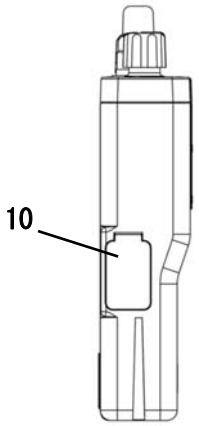


設定表示モードを終了するには、EXIT スイッチを画面が戻るまで
押し込み続けてください。

4.11 USBコネクタ

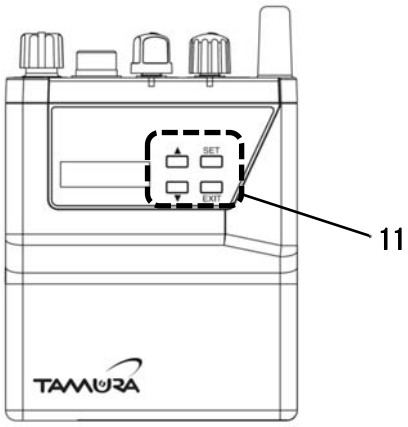
設定用 PC ソフトがインストールされている Windows パソコンと USB ケーブルで接続します。

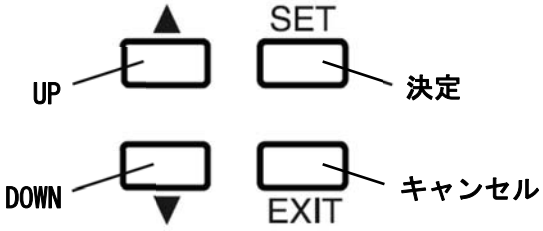
子機の設定を変更する際に使用します。



4.12　設定用スイッチ

子機の設定を変更する際に使用します。





5. 設定パラメータの説明

設定スイッチまたは設定用PCソフトを使用することで下記一覧表の機能の設定を変更することが可能です。

項	名称	画面表示	設定値	説明	設定可否	
					本体	PCソフト
1	メインコントローラID登録	–	数字8桁	接続先システムのメインコントローラIDを登録します。	–	●
2	メインコントローラID選択	MCID SEL	数字8桁	子機に登録されたメインコントローラIDを選択します。	●	●
3	通話グループ設定	GROUP SYS	**1G+P**、2G+P	「1グループ+音量調整可能PGM」または 「2グループ同時聴取可能+固定PGM」を選択します。	●	●
4	グループ選択	GROUP	PGM/GrX、 GrX/GrX(**PGM/Gr1**)	通話グループを選択します。 1G+P選択時:B系統 PGM / A系統 G1～4 2G+P選択時:B系統 G1～4 / A系統 G1～4	●	●
5	トークグループ選択	TALK Gr	GrB、**GrA**	トークを行う通話グループを選択します。	●	●
6	子機番号登録	BP NUMBER	**001**～255	子機番号を登録します。	●	●
7	中間スイッチ動作設定	HS SW	**TALK**、ISO、 TALK ALL	ヘッドセットの中間スイッチの機能を選択します。	●	●
8	機能割当設定	VOL SW	TK ACTIVE、 **Gr SEL**、TKA+GrSEL	ボリュームスイッチのプッシュスイッチ機能を 選択します。	●	●
9	通知音 音量設定	MSG TONE LOWBATT LOW SIG CON REQ SET SW VOL SW CHG Gr	■■■～□□■ (□■■) OFF	通知音の音量を設定します。	●	●
10	マイク感度	MIC GAIN	**STANDARD**、LOW	マイク感度を選択します。	●	●
11	送信VOX	TX VOX	ENABLE、**DISABLE**	送信VOXの有効/無効を選択します。	●	●
12	受信VOX	RX VOX	ENABLE、**DISABLE**	受信VOXの有効/無効を選択します。	●	●
13	通信システム設定	COMM MODE	**DUPLEX**、 LISTENONLY	子機モードまたは受令専用モードを選択します。	●	●
14	大音量モード設定	LOUD MODE	ENABLE、**DISABLE**、 FORCE	大音量モードを選択します。	●	●
15	サイドトーン音量設定	SIDE TONE	■■■■■ ～□□□□■ (□□■■■) OFF	サイドトーンの音量を設定します。	●	●
16	電池種別	BATTERY	**ALKALINE**、Ni-MH	使用する電池種別を選択します。	●	●
17	ログ開始/停止	LOG START	START、**STOP**	ログ記録の開始/停止を設定します。	●	●
18	ログ取得	–	–	記録されたログを取得します。	–	●
19	ログ設定	LOG LEVEL	DETAILED、 **STANDARD**、 SIMPLE	ログ記録レベルを設定します。	●	●
20	ログクリア	LOG CLEAR	–	記録されたログを消去します。	●	●
21	設定保存	–	–	子機の設定をPC上に保存します。	–	●
22	設定復元	–	–	PC上に保存した子機の設定を復元します。	–	●
23	子機ID表示	BPID	英数字10桁	本機固有のIDを表示します。	●	●
24	ソフトウェアバージョン表示	VERSION	英数字10桁	本機のソフトウェアバージョンを表示します。	●	●
25	設定初期化	INITIALIZE	**NO**、YES	工場出荷時の設定に変更します。	●	●

※設定可否に ● が付いていない項目は設定できません。
※設定値の下線は初期設定です。

設定用 PC ソフトについて

設定用 PC ソフトを使用することで、子機の各種設定情報の読み出し書き込みができます。
※アプリケーションの使い方は設定用 PC ソフトの取扱説明書を参照してください。
【注意】

- 子機は USB ケーブルからの給電をサポートしていません。子機に電池パックを装着した上で USB 接続を行ってください。
- パソコン 1 台に対して複数台の子機を同時に接続しないでください。複数台の子機を設定する際は、子機を 1 台ずつつなぎ変えてください。
- USB ハブまたは USB 延長ケーブルは使用しないでください。USB 接続しても子機が認識されない場合があります。
- USB ケーブルの抜き差しは子機の電源が「OFF」の状態で行ってください。
- MK-B96A は Bluetooth 機能非搭載のため、PC ソフトから Bluetooth ON/OFF 設定を変更しても設定状態は反映されません。

＜表示パネル＞
子機を USB ケーブルでパソコンと接続した状態は下記画面のように表示されます。

U S B
C O N N E C T E D

設定終了後は子機の電源を「OFF」にし、USB ケーブルを取り外してください。

5.1 メインコントローラID選択

・メインコントローラには ID が割り当てられています。(数字 8 桁)
・登録されている MCID から選択します。(10 台まで登録可能)
※登録方法は設定用 PC ソフトの取扱説明書を参照してください。

5.2 通話グループ設定

「1 グループ+音量調整可能 PGM」または「2 グループ同時聴取可能+固定 PGM」を選択します。

1G+PGM　：1 グループの通話と音量及び PGM の音量調整が可能です。

2G+PGM　：2 グループの通話とそれぞれの音量調整が可能です。
PGM 単独での音量調整はできません。

5.3 グループ選択

通話するグループを選択します。

1G+PGM 選択時　：A 系統に G1～4 までの 1 グループを選択できます。
B 系統は PGM に固定されています。

2G+PGM 選択時　：A/B 系統それぞれ G1～4 までの 1 グループを選択できます。
A/B 系統で同じグループは選択できません。

5.4 トークグループ選択

トークを行うグループを選択します。

GrA　　：A 系統にトーク可能です。

GrB　　：B 系統にトーク可能です。

5.5 子機番号登録

子機番号を指定できます。

BP NUMBER　・・・　　子機番号を 001～255 まで指定できます。

5.6 中間スイッチ動作設定

ヘッドセットの中間スイッチの設定です。

TALK　　：TALK スイッチ
　　本体 TALK スイッチと同様にヘッドセットの中間スイッチで
　　マイクの ON/OFF ができます。

ISO　　：アイソレーションモード
　　ヘッドセットの中間スイッチが ON の時に 2W/4W 出力を停止する
　　ことができます。

TALK ALL　：一斉通話
　　全グループに対して送話ができます。

5.7 機能割当設定

ボリュームスイッチ A 及びボリュームスイッチ B の
切替スイッチ（プッシュ）に機能を割り当てます。

TK ACTIVE：VOL A プッシュでトークする系統を A にします。
　　VOL B プッシュでトークする系統を B にします。

Gr SEL　：VOL A プッシュで A 系統のグループを切替えます。(G1～4)
　　VOL B プッシュで B 系統のグループを切替えます。(G1～4)
　　※A/B 系統で同じグループは選択できません。

TKA+GrSEL：VOL A プッシュでトークする系統を切替えます。(A 系統⇔B 系統)
　　VOL B プッシュでトーク選択中の系統のグループを切替えます。
　　(G1～4)
　　※A/B 系統で同じグループは選択できません。

5.8 通知音 音量設定

各種通知音の音量 3～1 または OFF(停止)を選択できます。

LOWBATT ・・・
電池残量警報時の通知音。

LOW SIG ・・・
圏外警報時の通知音。

CON REQ ・・・
接続要求時の通知音。

SET SW ・・・
設定スイッチ操作時の通知音。

VOL SW ・・・
VOL スイッチ押下時の通知音。

CHG Gr ・・・
グループ切替時の通知音。

5.9 マイク感度

ヘッドセットのマイクの感度を 2 段階から選択することができます。

STANDARD : 標準設定です。

LOW : STANDARD 時よりもマイクの感度が 9dB 下がります。
周囲の音を拾いやすい、もしくは、ハウリングが発生しやすい
場合に LOW に設定してください。

5.10 送信VOX、受信VOX

送信または受信の VOX 機能の ON または OFF を選択できます。
～VOX 機能とは？～
音声を検出した時だけ出力を有効にする機能です。
無音時にサーっと聞こえるノイズを低減し、長時間子機を使用し続けても
耳が疲れにくくなります。
【注意】音に反応して出力のスイッチが ON になるため、最初の発音
が途切れる場合があります。

DISABLE ・・・ VOX 機能 OFF

ENABLE ・・・ VOX 機能 ON（検出した時だけ音声が出力されます。）

5.11 通信システム設定

子機または受令専用を選択することができます。

DUPLEX　　：子機として動作します。
　　送話と受話が可能です。

LISTENONLY　　：受令専用として動作します。
　　受話のみで送話はできません。

※受令専用を使用する場合はメインコントローラの設定が必要です。
※メインコントローラで受令モード選択した場合、アクティブアンテナ 1 台に接続できる DUPLEX モードの子機は 8 台になります。

5.12 大音量モード設定

通常よりもヘッドセットから出力される音量が大きくなります。

大音量モードの場合、音量が大きくなるためイヤホンタイプの
ヘッドセットで使用しないでください。耳に悪い影響を与える恐れがあります。

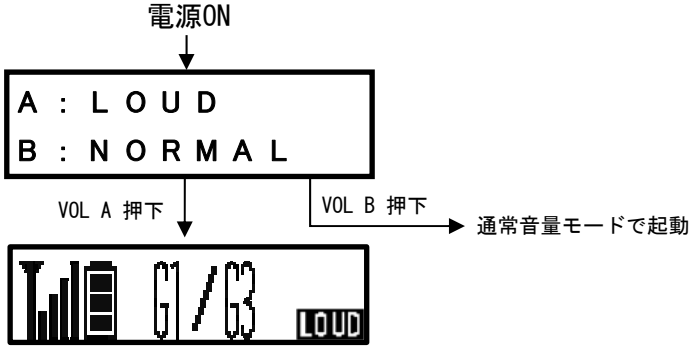
DISABLE(NORMAL)　　・・・　通常音量

ENABLE(LOUD/NORMAL)　　・・・　大音量/通常音量

FORCE(LOUD)　　・・・　大音量

LOUD 設定を ENABLE にすると、電源 ON 時に毎回、下記画面が表示されます。
ここで LOUD を選択(VOL A 押下)することで大音量モードが使用できます。

LOUD 設定：ENABLE 時の操作手順



<注>電源 ON 後、30 秒間スイッチ操作がない場合、自動的に通常音量モードで起動します。
LOUD 設定は、ENABLE のまま変更されません。

※大音量モード対応ヘッドセット beyerdynamic 製 DT290MK2 200/80(別売り)での使用を推奨します。接続には SR30-XLR 変換ケーブル(別売り)が必要になります。
※低インピーダンスのヘッドセット(HS-126D 等)で音量を上げると、
電池の消費量が増え、電池の使用時間が短くなります。
また、大きい音量で出力し続けると本体の電源が切れる場合があります。
大音量モード使用の際は、ニッケル水素電池の使用を推奨致します。
※音量を上げて使用すると、ハウリングが発生しやすくなります。
ボリュームを下げ、マイク感度を LOW に設定してください。

5.13 サイドトーン音量設定
サイドトーンの音量 5～1 または OFF(停止)を選択できます。

5.14 電池種別
表示パネルに表示される電池残量表示の選択です。
使用する電池(アルカリ乾電池/ニッケル水素電池)に応じて、
電池種別表示設定を切り替えてください。

ALKALINE　：　アルカリ乾電池用に設定

Ni-MH　：　ニッケル水素電池用に設定

【注意】アルカリ乾電池の表示設定でニッケル水素電池を使用するとフル充電しても
2 個( )表示の場合があります。

5.15 ログ開始/停止
ログ記録の開始と停止を設定します。
START　：　開始

STOP　：　停止

5.16 ログ取得
記録されたログを PC に取り込みます。

5.17 ログ設定
ログの記録レベルを設定します。
DETAILED　：　詳細

STANDARD　：　標準

SIMPLE　：　簡易

5.18 ログクリア
記録されたログを消去します。

5.19 設定保存
設定情報を PC に取り込みます。
※設定用 PC ソフトの取扱説明書を参照してください。

5.20 設定復元

PC に保存した設定に書き変えます。

※設定用 PC ソフトの取扱説明書を参照してください。

5.21 子機ID表示

本機固有の ID を表示します。

5.22 ソフトウェアバージョン表示

本機のソフトウェアバージョンを表示します。

5.23 設定初期化

工場出荷時の設定にします。

6.定格性能

高周波部

1)	使用周波数	1895.616～1904.256MHz(6波の中の1波)
2)	空中線形式	逆Fアンテナ×2（偏波ダイバシティ）
3)	空中線利得	0dBi
4)	空中線電力	240mW
5)	受信感度	24dBμVEMF以下（BER 1×10^{-3}）

オーディオ部

1)	音声周波数	100Hz～7kHz
2)	マイク入力	-60dBV（不平衡）
3)	音声出力	250mW(8Ω大音量モード時)、10mW（8Ω時）
4)	音声歪み	3%以下（基準出力時）

その他

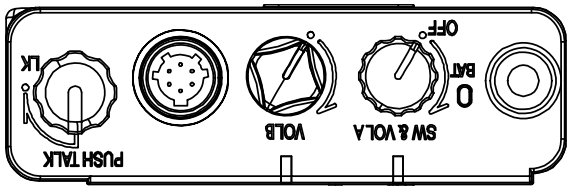
1)	使用電源	DC1.8～3.4V 単3形アルカリ乾電池2本又はニッケル水素電池2本
2)	使用時間	約8時間 （アルカリ乾電池・常温使用時、他の電池については下記参照）
3)	使用環境範囲	温度：-10～+50℃（電池の温度特性は含まず） 湿度：10～90%（結露なきこと）
4)	保存環境	温度：-20～+60℃
5)	外形寸法	W=85 × H=100 × D=26.8（mm）（突出物の寸法を除く） ※アンテナ部を含む高さ H=120.8（mm）
6)	質量	約218g（アルカリ乾電池含む、皮ケース除く）
7)	規格	ARIB STD-T101（2.0版）

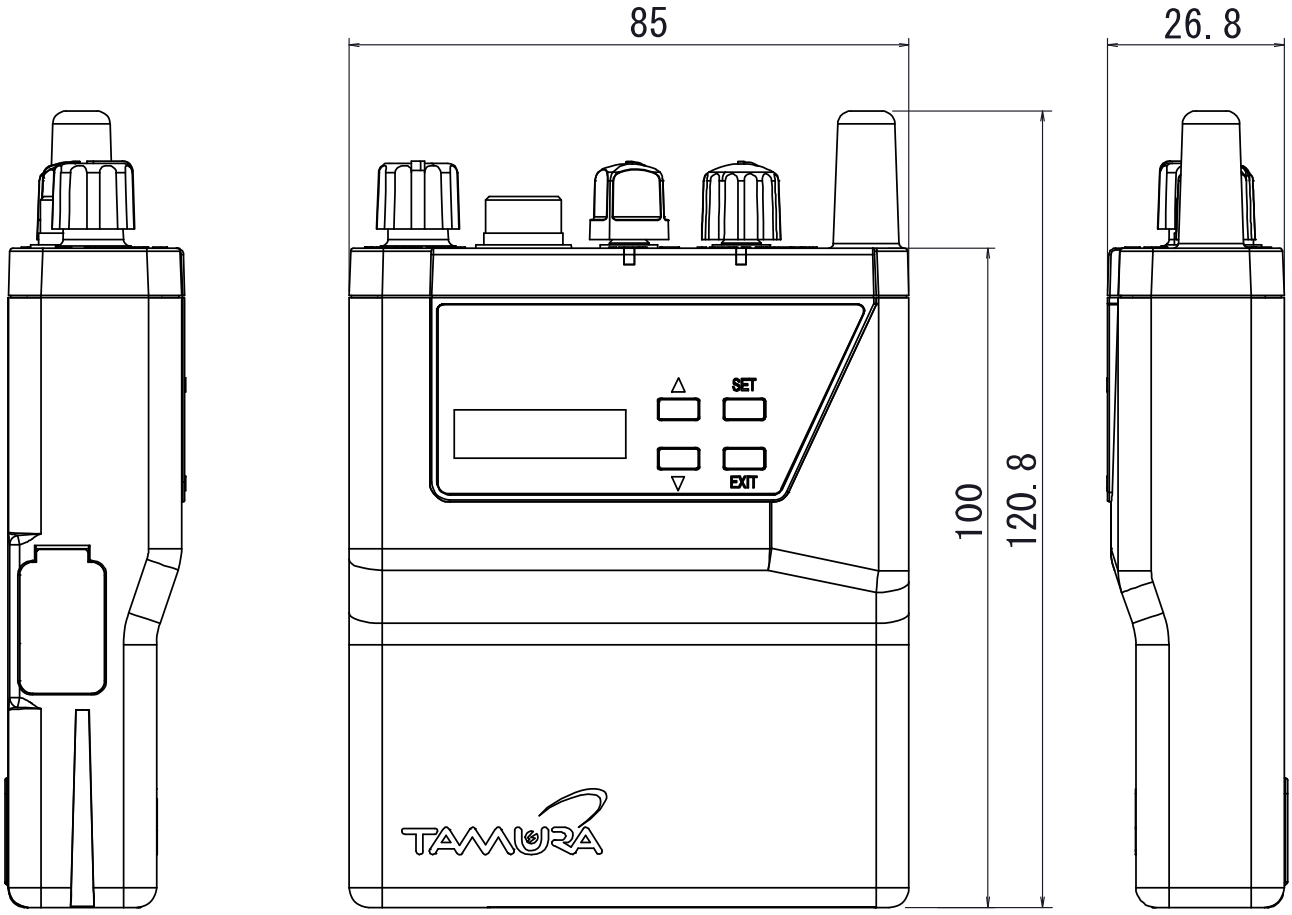
● 本機の使用時間は、使用する電池により以下となります。

・アルカリ乾電池
LR6XJ（アルカリ乾電池）：約8時間
LR6NJ（乾電池エボルタネオ）：約10時間

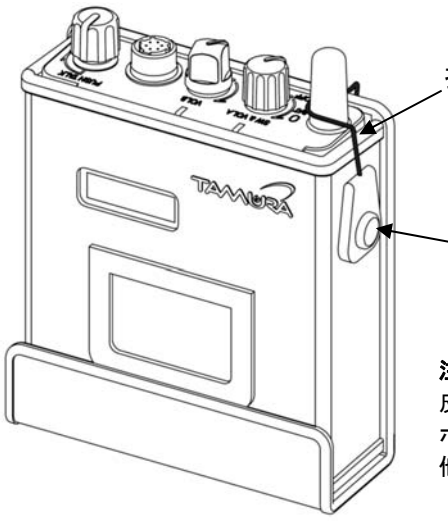
・充電式ニッケル水素電池
BK-3MCC（エネループ スタンダードモデル）：約10時間
BK-3HCD（エネループ ハイエンドモデル）：約12時間

7. 外形図





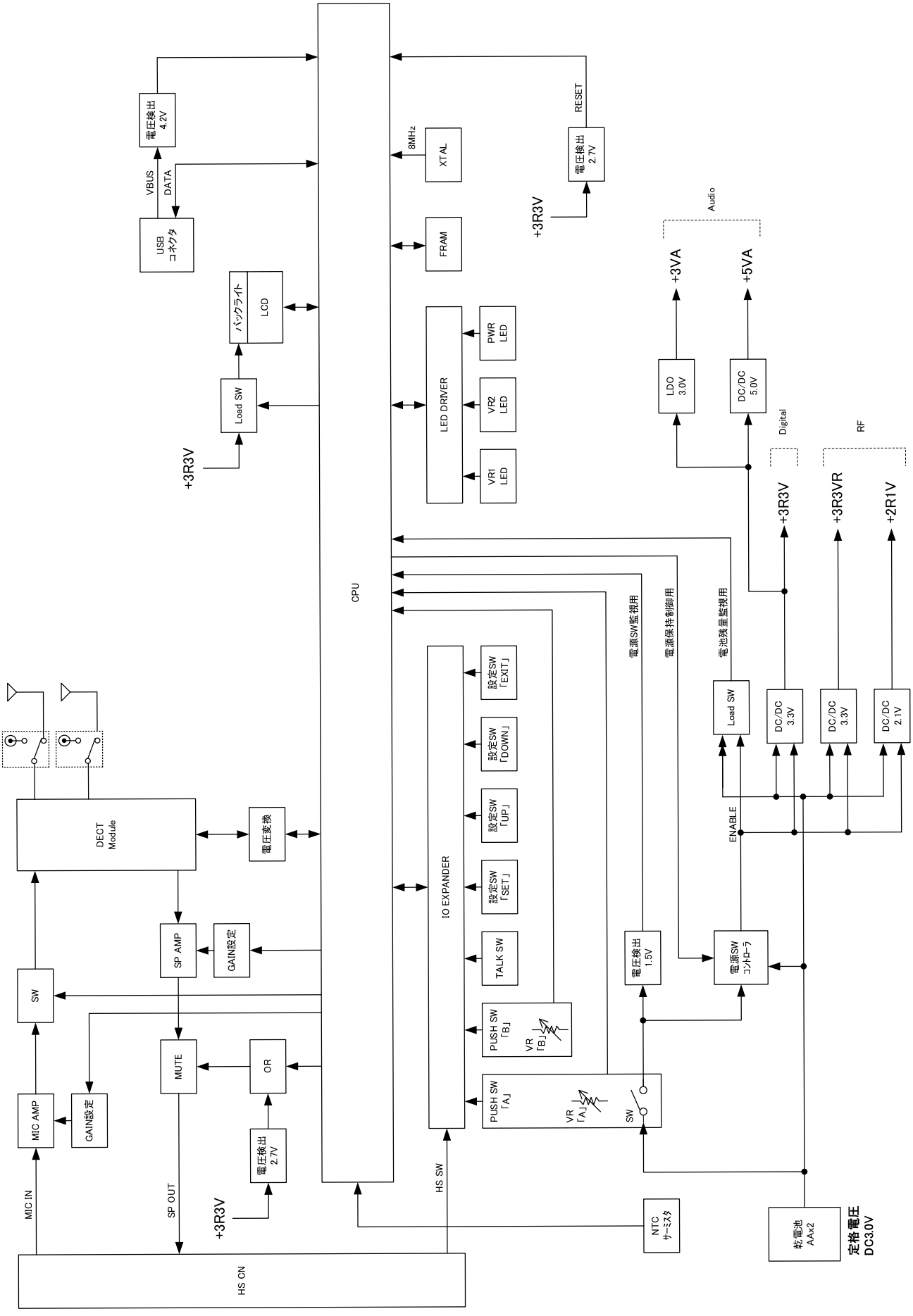
【皮ケース取付時】　　単位:mm



注意)
皮ケース取付の際は、左図の様に抜けどめ紐をアンテナと
ボリュームスイッチAの間を通して、とめ具をとめてください。
他のかけ方をすると、抜けどめの効果がなくなります。

仕様変更などにより、図や内容が一部異なる場合があります。

8. ブロック図


CPU
電圧検出 4.2V
VBUS
DATA
USB コネクタ
8MHz
XTAL
RESET
電圧検出 2.7V
+3R3V
FRAM
バックライト
LCD
Load SW
+3R3V
LED DRIVER
PWR LED
VR2 LED
VR1 LED
Audio
+3VA
+5VA
LDO 3.0V
DC/DC 5.0V
Digital
RF
+3R3V
+3R3VR
+2R1V
電源SW監視用
電源保持制御用
電池残量監視用
Load SW
DC/DC 3.3V
DC/DC 3.3V
DC/DC 2.1V
ENABLE
IO EXPANDER
設定SW 「EXIT」
設定SW 「DOWN」
設定SW 「UP」
設定SW 「SET」
TALK SW
PUSH SW 「B」
VR 「B」
PUSH SW 「A」
VR 「A」
SW
電圧検出 1.5V
電源SW コントローラ
DECT Module
電圧変換
SP AMP
GAIN設定
SW
MUTE
OR
MIC AMP
GAIN設定
電圧検出 2.7V
+3R3V
MIC IN
SP OUT
HS SW
NTC サーミスタ
乾電池 AAx2
定格電圧 DC3.0V
HS CN

9.故障かなと思ったら

修理のご依頼前に、もう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、当社カスタマーサービスまでご相談ください。

症状	原因	対処のしかた
電源が入らない。	電池パックが実装されていない。	「4.1 電池パックの取り付け」を参照の上実装してください。
	電池の残量がない。	アルカリ乾電池を新品のものと交換してください。 ニッケル水素電池の場合には電池を充電して使用してください。
「ピーッ」「ピーッ」と音がしてアクティブアンテナと接続しない。	メインコントローラ及びアクティブアンテナの電源が入っていない。	メインコントローラ及びアクティブアンテナの電源を入れてください。
	MCIDが違っている。	「5.1 メインコントローラID選択」を参照して設定してください。
	デジタルコードレス電話など本システムと同じ無線規格のものが使用されている。	一度デジタルコードレス電話などのシステムを停止して使用してみてください。 改善されない場合は、当社カスタマーサービスまで連絡してください。
メインコントローラからの音声は聞こえるが子機からの音声がメインコントローラ側に出ない。	TALK SWが押されていない。	「4.5 TALKスイッチON/OFF、TALK-LOCK」を参照の上設定してください。
メインコントローラからの音声が聞こえない。	ヘッドセットのイヤホンが抜けかかっている。	イヤホンをしっかりとヘッドセットに挿入してください。
USB接続ができない。	電源スイッチがONになっていない。	「4.6 ボリュームスイッチA」を参照の上、電源スイッチをONにしてください。

※そのほかメインコントローラの設定が原因の場合があります。
メインコントローラ(MK-C96)の取扱説明書もご確認ください。

保証規定

保証期間は　ご購入日より１年間

保証期間中に正常な使用状態のもとで、万一故障が発生した場合には無償で

修理いたします。但し下記事項に該当する場合は無償修理の対象から除外します。

１．不当な修理や改造による故障

２．不適当な取扱い又は使用による故障

３．天災など故障の原因が本機以外の事由による故障

４．ご購入後の輸送、移動、落下等による故障及び破損

ご使用中に不具合が発生し修理を必要とする場合は、当社カスタマーサービスまでご連絡ください。 また動作運用上についてご不審の点がある場合、その他当社取扱品目についてご要望事項がありましたら、当社営業までご連絡ください。

なお、修理・再調整期間を短縮するために事故状態・ご使用期間などの経歴をできるだけ詳細にお知らせください。

株式会社タムラ製作所
TAMURA CORPORATION

http://www.tamura-ss.co.jp/
仕様および外観など、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。